

家族を育むスタイル・ランゲージ

多様な家族のあり方を言語化する

鈴木 峻平^{*1}, 尾崎 佑馬^{*1}, 梅若 美和音^{*1}, 金子 智紀^{*2}
吉田 展子^{*3}, 宮川 聖子^{*3}, 井庭 崇^{*1}

^{*1} 慶應義塾大学総合政策学部

^{*2} 慶應義塾大学環境情報学部

^{*3} 花王株式会社生活者研究部

Abstract

家族のあり方や暮らし方は、私たちの見聞きできる範囲を超えて、実に多様に存在し、一つとして同じ家族はない。そんな多様な家族のあり方や暮らし方を知ることができれば、それがより良い家族の暮らしをつくる際の発想のヒントとなり、自分たちの暮らしをより良いものへとつくっていくことができるのではないかと。このような仮説のもと、私たちは、130の家族に対してインタビュー調査を行い、家族の多様なあり方や暮らし方を言語化した「家族を育むスタイル・ランゲージ」を作成した。スタイル・ランゲージとは、パターン・ランゲージに依拠した、物事の多様なあり方を言語化する手法である。現在、「家族を育むスタイル・ランゲージ」には、14のテーマに分類された390個のスタイルが含まれている。また、私たちは「家族を育むスタイル・ランゲージ」を活用してワークショップを実施した。その結果、「家族を育むスタイル・ランゲージ」は、参加者同士が家族について改めて考え、より良い家族の暮らし方をつくる発想のヒントとなることが示唆された。

1. はじめに

日々を生きる私たちにとって、家族は、一番身近な存在である。そんな私たちの家族について、「私たちの家族関係をより良くしていくには、私たちは何ができるのだろうか」と考えるとき、私たちの常々見聞きできる範囲を超えてその発想のヒントを得ることは難しい。そのため私たちは、自分の親族や友人、またはテレビでみた家族など、自分が今まで見聞きすることを通して触れてきた家族の暮らしを取り入れてみたり、参考にしたりすることが多いだろう。

しかし、家族の暮らしは実に多様である。一つとして同じ暮らしをしている家族は存在せず、家族のルールや習慣は、家族の数だけバリエーションがあるものである。そんな多様な家族の

暮らし方を 1 つでも多く知ることができたら、私たちの家族をつくる発想のヒントが増え、私たちの家族の暮らしを、私たちらしくより生き生きとしたものにしていくことができるのではないだろうか。

そこで、私たちは家族の多様なあり方を知るために、家族構成や出身地域、学歴の異なる高校生や大学生、社会人の計 130 人からインタビューを行った。そして、それをまとめるために、「スタイル・ランゲージ」(Style Language)という、ある対象における様々なスタイルを言語化する方法論(井庭,野崎ほか, 2018)を用いた。そうして私たちは、家族の多様なあり方や暮らし方を、「家族を育むスタイル・ランゲージ」としてまとめた(慶應義塾大学井庭研究室・花王株式会社生活者研究センター, 2017)。これは、家族の多様なあり方や暮らし方を言語化したものである。家族のルールや習慣は家族の数だけ存在するものであり、それは集約されて表せられるようなものではない。そのように様々な家族のあり方や暮らし方を言語化し、表現するために、私たちは「スタイル・ランゲージ」の方法を採用し、「家族を育むスタイル・ランゲージ」として家族の多様なあり方や暮らし方を言語化したのである。

この「家族を育むスタイル・ランゲージ」は、多様な家族のスタイルに触れることで、より良い家族のあり方や暮らしかたをつくることを支援することを目的としている。これらのスタイルに触れることで、「父が仕事で家族との時間を取ることができない」、「家族内で上手にコミュニケーションが取れない」など、各家族の抱える問題を解決するための発想を得る入り口となる。つまり、個々のスタイルが、私たちの家族の暮らしをより良くしていく発想のヒントとなるのである。

本論文では、まず、この「スタイル・ランゲージ」という方法論を説明する。その後、「家族を育むスタイル・ランゲージ」を取り上げ、その作成方法や定義、特徴を論じる。さらに、私たちが実施したワークショップをもとに、「家族を育むスタイル・ランゲージ」の効果について検証し、今後の活用について論じていく。

2. スタイル・ランゲージとは

スタイル・ランゲージとは、ある対象における、様々な「スタイル」を言語化したものである。ここで言うスタイルとは、様々な考え方や取り組み方、あり方などの様式のことを指す。多様なスタイルを言語化することによって、スタイル・ランゲージは他者が物事にどのように取り組んでいるかを知るメディアとなるのである。

あらゆる物事や行為、考え方について、機能的に等価なスタイルは多様に存在する。例えば、家族の一体感をつくる工夫ひとつをとっても、家庭によってそのスタイルは大きく異なる。食事で家族が顔をあわせる時間をつくるために朝食は必ず全員が揃って食べるように決めているような家族もあれば、リモコンを「ポチポチ」と呼ぶなど、家族の中でしか通じない言葉をつくる家族、他にも地域のマラソン大会に家族で参加して、その練習を家族みんなでしている家族もある。

スタイル・ランゲージは、このようなスタイル一つひとつの内容を記述し、それに名前(スタイル・ワードと呼ぶ。)をつけて概念化し、細かい粒度で認識・区別が可能な形にしたものである。パターン・ランゲージが、いくつものパターンによって構成されており、その一つひとつにパターン名が付けられているのと同様に、スタイル・ランゲージは、いくつものスタイルによって構成され、その一つひとつにスタイル・ワードが付けられているのである。

このように、スタイル・ランゲージは、パターン・ランゲージとの類似点がある。しかし、両者は支援の方向性が異なり、したがって異なって捉えられるべきものである。

図1は、パターン・ランゲージとスタイル・ランゲージの支援の方向性を示したものである。パターン・ランゲージとスタイル・ランゲージは、いずれも創造実践を支援するための言葉である。なかでも、対象における質を向上させることができるような経験則を抽象化・概念化したものがパターン・ランゲージである。「より良い質を持った成果をどのように生み出すことができるのか」ということを、状況／問題／解決／結果という形式でまとめ、それに名前をつける」（井庭・梶原, 2016, p45）ことで、より良い質を持った成果の生み出し方を認識し、考え、語ることを可能にしている。そして、そのような創造実践を実現させる具体的な方法には様々なものが考えられる。この多様な創造実践の具体的な方法を言語化し、多様な可能性を認識することを可能にしたものが、スタイル・ランゲージなのである（井庭・野崎ほか, 2018）。

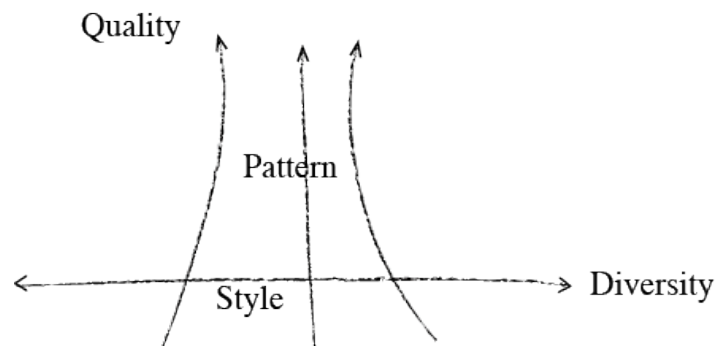


図1：パターンとスタイルの支援の方向性の違い

多様なスタイルを言語化した「スタイル・ランゲージ」は、他者が物事にどのように取り組んでいるかを知るメディアとなり、新たな考えや取り組みを発想することの支援に繋がる。

私たちは、日常生活において、自分の考えや取り組みなどのスタイルについて意識する機会があまりに少ないために、他のスタイルの存在について意識することが難しい。そのため、自らのスタイルが別様でありうる可能性を考えるのが、難しくなってしまうのである。そこで、スタイル・ランゲージによって多様なスタイルを言語化すると、自分の思考や行為、取り組み方を、様々なスタイルのひとつとして認識することができ、同時に、それについて語ることで他者の物事の取り組み方を知ることができるようになる。そうして普段触れられる範囲を超えた多様なスタイルに触れることで、そのスタイルについて語りやすくなることができ、新たな考えや取り組みを発想するヒントになるのである。

本論文で取り上げる「家族を育むスタイル・ランゲージ」は、家族の多様なあり方や暮らし方のスタイルを言語化したものである。今まで知らなかったような多様な家族のスタイルに触れることで、発想を広げ、より良い家族の暮らしをつくることができるようになるのである。

3. 作成プロセス

はじめに、「マイニング・ダイアログ」(Sasabe, *et al.*, 2016) という方法を用いて、家族構成や出身地域、学歴の異なる高校生や大学生、社会人の計 130 人にインタビューを行なった。マイニング・ダイアログとは、パターンの種となりうる、大切な経験則について掘り起こす対話型のインタビューである。最も大切なことを探るために、「友人や後輩に、真っ先に伝えたいことは何ですか？」という「伝えたい大切なこと」(Sasabe, *et al.*, 2016) を聞く質問から始め、対話しながら、大切な経験則について深掘りして行くものである。

このマイニング・ダイアログを参考にして、「自分の家族の好きなところは何ですか？」「自分の家庭に何かルールはありましたか？」という質問から始め、お互いの家族について対話しながら、自分たちの家族ならではの暮らし方を掘り起こした。その結果、例えば「毎週日曜日の朝は父がホットケーキをつくってくれた。いつも料理をするタイプではなかったけれど、かわいい形で工夫してくれていて、日曜日の朝はいつもどことなく特別だった。」「両親に言いづらいことは手紙に書いて、8 個下の妹に預けていた。妹が郵便局ごっことして手紙を届けてくれるので、真面目な話を気軽に伝えられた。」というような、様々な家族のルールやエピソード、家族で実践していることなどの「スタイルの種」を、合計 638 個書き起こすことができた。

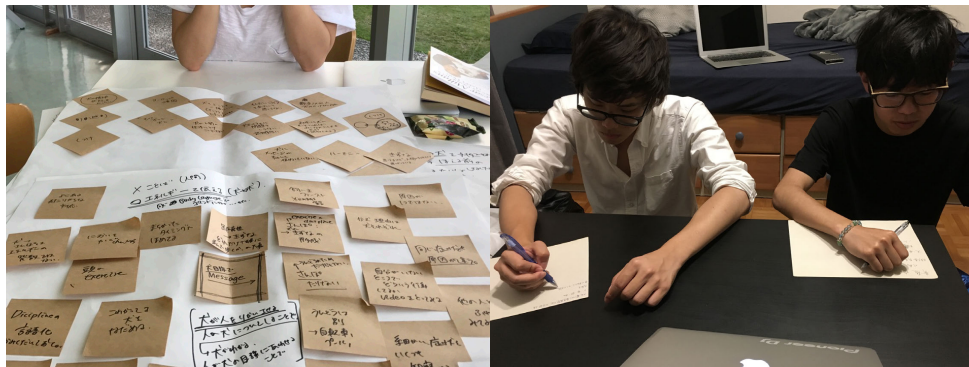


図 2：マイニング・ダイアログの様子

次に、得られたスタイルの種について、得られたデータを整理して発想を促すための手法である KJ 法 (川喜田, 1967) を参考にしながら、スタイルの種をテーマに束ねる作業を行なった (図 3)。スタイルの種を書き起こした紙を俯瞰できるように広げ、内容の本質が似ているものをまとめていった。その結果、390 個のスタイルは、14 のテーマのもとにまとめられた。まとめられた各テーマには、例えば、それぞれの家族なりの生活や過ごし方をつくるスタイルのまとまりには「家族の世界」、家族の会話を弾ませられるような、様々な工夫をまとめたものには、「会話の種まき」というように、それぞれのテーマに含まれているスタイルの内容を象徴的に表現できる名前を付けた。



図 3 : 390 個のスタイルの種を、テーマに束ねる作業の様子

この作業と並行しながら、書き起こされたスタイルの種について、その内容を表す文章を洗練させる作業を行なった。マイニング・ダイアログで語られたエピソードを、文章の見やすさや読みやすさを意識し、インタビューした相手の雰囲気や質感を保ちながら、計 6 回のリバイズを行い、文章を洗練させていった。

同様に、それぞれのスタイルの種についてスタイル・ワードを名付ける作業も、テーマに束ねる作業と並行して行なった。この際、私たちは、パターンに名前を付ける際の秘訣やコツを言語化した「パターン・シンボライジング・パターン」(Shibata, *et al.*, 2016) を参考に行なった。スタイル・ワードが、その内容の《本質を捉えた表現》となり、また会話の中で使用され、誰もが使えるような《日頃使える言葉》となるよう、計 3 回のリバイズを行なった。

4. 家族を育むスタイル・ランゲージ

前章のようなプロセスを経て、私たちは、家族の多様なあり方や暮らし方を言語化した「家族を育むスタイル・ランゲージ」を作成した。「家族を育むスタイル・ランゲージ」は、家族の数だけ存在するような家族のルールや習慣などのスタイルを言語化したものである。家族の多様なスタイルに触れ、それを発想のヒントとすることを通して、より良い家族をつくるための様々な方法を示し、発想のヒントを提供してくれるものである。

このスタイル・ランゲージは、昨年、慶應義塾大学井庭研究室と花王株式会社生活者研究センター（現・花王株式会社生活者研究部）の共同研究で制作した、『日々の世界のつくりかた：自分らしく子育てしながら働くためのヒント』（慶應義塾大学井庭研究室・花王株式会社生活者研究センター, 2016; Ogo, Iba, *et al.*, 2017) という子育てと仕事を両立する秘訣やコツをまとめたパターン・ランゲージを受け、日々の世界を具体的につくっていく段階へと発想を広げる支援をするものとして制作された。

「家族を育むスタイル・ランゲージ」に含まれる個々のスタイル・ワードは、そのスタイルが目指していることに合わせて、計 14 種類のテーマに分類されている（表 1）。

表 1 : 14 のテーマ内容

テーマ	内容
家族の世界	それぞれの家族なりの生活や過ごし方をつくるスタイル。
エールのかたち	様々なアプローチで、家族を応援するスタイル。
家族時間	家族だけの時間を、どのようにつくっていくかについてのスタイル。
らしさの尊重	家族のやりたいことや趣味など、「その人らしさ」を大事にするスタイル。
あたたかなつながり	近所や職場の友人、地域とのつながりを大切にするスタイル。
外の世界にふれる	習い事や親の職場など、家族の外にある世界と触れるスタイル。
会話の種まき	家族の会話を弾ませられるような、様々な工夫のスタイル。
家族プロジェクト	家族で楽しむ様々なイベントのつくりかたについてのスタイル。
一緒に考える	家族に寄り添い、様々な決断を、一緒に考えるスタイル。
感謝のきっかけ	日頃抱いている感謝を、家族に伝えるきっかけとなるスタイル。
素直に話す	家族どうしが隠し事をすることなく、素直になれるような、様々なコミュニケーションのとりかたを集めたスタイル。
好きの拡散	それぞれの趣味や好きなことを、家族にシェアするスタイル。
小さな楽しみ	日常生活の中のちょっとした楽しいイベントや工夫を集めたスタイル。
思い出の残し方	家族の思い出を残す、様々な工夫を集めたスタイル。

このように、「家族を育むスタイル・ランゲージ」に含まれるスタイルは、14 のテーマによってゆるやかに束ねられている。現在、私たちは、このような家族のあり方や暮らし方などのスタイルを 390 個発見することができた。以下の表 2 は、各テーマから 2 つずつ抜粋した、計 28 個のスタイルの例である。

表 2 : スタイルの抜粋例

テーマ	スタイル・ワード	スタイルの内容
家族の世界	愛情のハグくみ	毎日「ただいま」などのハグをするので、家族の愛情を常にかけている。家族の愛のぬくもりを直接感じられるスキンシップってやっぱり素敵だと思う。
	はずかしソング	お風呂上がりになかなか服を着なかったり、おねしょをしてしまったりする弟に、手を焼いた母がそんな弟の歌を作って歌っていた。弟は恥ずかしがって、失敗を繰り返さないようになった。
エールのかたち	寄り添いレター	学校で色々あって悩んでいた時、親も忙しいので迷惑がかかると思い、相談できずにいた。だけど、母は知っていて、こっそり手紙を書いてくれた。影で見守ってくれているということが分かってとても安心した。
	お留守番マジック	共働きの両親を家で待っている間に兄妹で仕掛けたいはずらを、母は「お留守番マジック」と言って楽しんでもらった。家中を迷路にしたり汚したりしても、「お留守番マジックだね！」と受け入れてくれたから、次はなにをして驚かせようと思い、留守番も楽しかった。
家族時間	毎朝のひととき	小さい頃、朝 6 時くらいから親を起こして、キャッチボールや積み木などで、色々遊んでもらっていた。夜に時間が取れない分、毎朝付き合ってくれたから、親との共有の時間をしっかりつくることができた。
	参拝スタート	週末に必ず家族全員で神社にいて、そのあとに遊びに行くのが日課。その週を元気に過ごせたことをみんなで感謝して、次の週も楽しくできるように神社に行く。家族みんなで行くから、一体感が出て良い感じがする。
らしさの尊重	勇気の仕掛け	海外旅行に行った時は必ず姉妹だけでご飯を買うように言われる。小

		さい頃から英語を使い、自分の力だけで買って来るようにさせられた。このため海外で生活する度胸がついたり、外国人に話しかける勇氣も強くなったりした。
	個の認め合い	誰かの趣味を否定することはしない。子供の趣味にも口を出さない。だから色んな世界に興味を持てるようになったし、人の個性を否定しない寛容な性格になれたと思う。
あたたかなつながり	祖父は遊び博士	祖父は色々な遊びを知っていて、一緒に遊びながら色々体験できた。親は忙しくてあまり一緒に遊ぶことはできなかったが、かわりに普段できないような遊びを祖父とたくさんした。
	団地旅行	同じ団地に住んでいた友人たちで毎年旅行に行っている。よく一緒に遊んでいるので、家族同然の仲だ。家族以外に兄のような存在も近くにたくさんいたので毎日楽しく過ごせた
外の世界にふれる	トイレの目標ポスター	うちのトイレには、みんなの1ヶ月の目標を書いた表が貼られていた。父の仕事の状況なども何となく想像でき、私自身の目標も家族に共有できた。こうすることで応援し合えるので力がでる。
	しごとば観光	都会で働いている父親の職場に連れて行ってもらった時、父親がとても大きなビルで仕事をしているのを知り、驚いた。家にいるときの父親とは異なる一面を知って、父親の凄みを再度理解した。
会話の種まき	みんなの本棚	うちには大きな本棚が1つしかない。家族の本はすべて、そこの本棚に入っている。今誰がどんな興味を持っているのかが一目瞭然で、会話が生まれやすい。
	お弁当の先約	うちの母は週末、目的なしに大きな重箱でお弁当をつくる。どこかに出かける目的があるからお弁当をつくるのではなく、「お弁当作っちゃったから、どこか遊びに行こうよ!」と、お弁当があるからみんなで出かける。
家族プロジェクト	世界制覇マップ	リビングにある大きな世界地図に、家族で行ったところ、誰かが行ったところを色で分けて画鋏をさしている。幼い頃から、父は出張でしょっちゅう海外に行っていたが、「お父さんは世界制覇マップを広げている!」と思うと寂しくなかった。
	夢貯金	家族共用の貯金箱が置いてある。みんなの協力で貯金箱をいっぱいにして、アメリカのテーマパークに行く約束になっている。なかなか貯まらないけど、家族の夢を貯金箱という目に見える形で共有しているのはいいと思った。
一緒に考える	お願いプレゼン	何かを始めるときや、親に何か新しいことを提案するときは、プレゼンをする必要がある。自費で旅行に行くときもプレゼンして旅行の理由を話す。
	夢の深掘り	将来やりたいと思っている事を話すと、真剣に向き合ってくれて、自分の気持ちを深掘りしてくれた。おかげでなぜそれをやりたいか、気がつくきっかけになった。
感謝のきっかけ	ママ感謝デー	家族が全員集まった日には、母親には家事をしないでもらう。母親以外のみんなでご飯を用意するなどして、手分けして家事をこなす。みんなが母親の大変さを理解することで、さらに感謝するようになった。
	我が家大賞	年末にそれぞれ家族内の今年の〇〇アワードを発表している。普段伝える機会がないからこそ、日頃の感謝を伝えるいい機会だし、とても盛り上がる。またみんなが案外自分のことをよく見てくれていてうれしくなる。
素直に話す	小さな郵便屋さん	両親に言いづらいことは手紙に書いて、郵便ごっこをする8歳下の妹に預けていた。妹が父にその手紙を渡してくれるので、直接では父に伝えるににくいことでも気軽に伝えられた。
	仲直りレター	喧嘩した時は、メモにメッセージを残して机の上に置いておく。そのメモに返事も書く。その場ではカットとなっても、いったん落ち着いてから思いを書くので冷静になれる。メモを通して仲直りをして、次の日からは元どおり。
好きの拡散	ブックコンシェルジュ	中学生の頃、オススメの本を家族で紹介し合っていた。ちょっと難しい本でも家族に紹介してもらってから読むと読みやすかった。ここで会話が生まれたし、楽しかった。
	趣味かじり	バイクの後ろに乗ったり、ドラマと一緒に観たりと親の趣味に付き添

		うことが多かった。親の好きなことに自分も一緒に参加できるのは新鮮だった。
小さな楽しみ	パパ・パンケーキ	毎週日曜日の朝は、父がパンケーキをつくってくれた。普段は料理をする人ではなかったけれど、いつもかわいい形になるように工夫してくれていた。そのため日曜日の朝は、どこことなく特別だった。
	しりとりボード	家にホワイトボードがあって、お互いの予定を書いてくのだが、ちょっとした遊び心で絵しりとりをやっていた。業務連絡のような淡白なものだけじゃなかったから雰囲気もよかったしみんあの予定をよく見えていた。
思い出の残し方	誕生日の真珠	誕生日プレゼントで真珠を毎年一粒ずつ渡す。長年かけて完成されるプレゼントだからこそ、完成した時に感じられる喜びがとても大きい。
	日々のアルバム	何気ない日常でも写真を撮るように意識していた。そして、1年が終わった時に家族みんなでアルバムを作った。そうすることで、毎年の思い出をしっかりと忘れずに残すことができた。

5. 「家族を育むスタイル・ランゲージ」の活用

「家族を育むスタイル・ランゲージ」を活用して、より良い家族のあり方や暮らし方をつくることの支援を実現するために、私たちは「家族を育むスタイル・ランゲージ」カードを作成し、そのカードを用いた「おしゃべりワークショップ」（Chatting Workshop）を実施した（井庭・野崎ほか, 2018）。

本章では、「家族を育むスタイル・ランゲージ」を活用する一例として、「家族を育むスタイル・ランゲージ」カードを取り上げたのちに、これを用いたおしゃべりワークショップについて紹介し、得られた感想から示唆された「家族を育むスタイル・ランゲージ」の効果について論じる。

5.1 「家族を育むスタイル・ランゲージ」カード

図 4 は、作成したカードの一例である。それぞれのカードには、スタイル・ワードとスタイルの内容文、テーマが記されている。そして、それぞれのスタイルの内容が想起されやすい写真を挿入している。



図4:「家族を育むスタイル・ランゲージ」カードの例



図5:「家族を育むスタイル・ランゲージ」カードのレイアウト

5.2 「家族を育むスタイル・ランゲージ」を用いたおしゃべりワークショップ

私たちは、「家族を育むスタイル・ランゲージ」カードを用いて、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（以下、SFC）の研究成果を発表するフォーラムである、SFC オープン・リサーチ・フォーラム(以下、ORF)において 1 回、また、SFC における授業にて 1 回、計 2 回のおしゃべりワークショップを実施した。

おしゃべりワークショップとは、「家族を育むスタイル・ランゲージ」カードをテーブル上に広げ、無作為にカードを手に取りながら、素敵だなと思うものやこれから家庭で実践してみたいと思うものを紹介しながら、自分の家族の魅力やエピソードなど、家族に関する様々な話題について周囲の人とおしゃべりを行うものである。この際、「家族を育むスタイル・ランゲージ」カードを見て思ったことを口に出しながらおしゃべりすることで、自分の経験を思い出したり、他の家族の暮らし方を知ることができる。

5.2.1 SFC オープン・リサーチ・フォーラムにおけるおしゃべりワークショップ

私たちは、2017 年 11 月 22 日、23 日に行われた ORF のセッションにおいて、高校生から社会人までの幅広い年齢層の人々をターゲットとしたワークショップを行なった。

ワークショップでは、参加者のほとんど全員が初対面の中、カードを手に取りながら自分の家族について語り合う場面を、終始つくることができた。

ワークショップの後、私たちは、参加者の一部に「スタイル・カードは、自分の家族について考えたり、自分の経験を他の人と共有し、理解するのに役に立ったか」、「家族での問題や悩みを解決するようなヒントになりそうなスタイルがあったか」などの質問をした。その結果、以下のような感想を得ることができた。

- 自分の家庭で実践してみたいと思った。
- 子供が生まれたらこうしたいなあと思えるものが多かった。「好きへの投資」は是非取り入れたい。
- 家族に答えはないということが分かった。
- 幼少期、父子家庭の私は、母親のいる家庭は温かくて幸せなのだろうと想像していた。その時想像していた幸せな生活がカードとなり、今日の前に溢れかえっていると、素直に懐かしく、嬉しく、興奮した。
- 各家族のイベントの、似ているようでそれぞれ異なる特徴に感心しながら、楽しく他の家族の経験を共有することができた。
- 他の家族についての発表も、単なるストーリーだけでなく、整理された方法、あり方として理解できた。

ワークショップでは、「各家族のイベントの、似ているようでそれぞれ異なる特徴に感心しながら、楽しく他の家族の経験を共有することができた。」や「他の家族についての発表も、単なるストーリーだけでなく、整理された方法、あり方として理解できた。」という感想から、家族のエピソードなどをグループの中で共有するきっかけとして「家族を育むスタイル・ラン

ゲージ」が機能しうるのではないかと考えられる。そして、「子供が生まれたらこうしたいなあと思えるものが多かった。」や「自分の家庭で実践してみたいと思った。」という感想から、参加者がより良い暮らし方について考えるきっかけになることが示唆された。



図 6：ORF にて開催したワークショップの様子

5.2.2 「ワークショップ・デザイン」授業内におけるおしゃべりワークショップ

2017 年 11 月 28 日に SFC で行われた、ワークショップの設計の仕方やファシリテーションについて実践しながら学ぶ「ワークショップ・デザイン」という授業において、履修している学生 34 人を対象としてワークショップを実施し、授業後、ワークショップの参加者全員に自由記述形式で感想を書いてもらった。中でも多く挙げた感想を、以下に示す。

- 今まで知ることのできなかった他の家族のスタイルを学ぶことができた。
- 多様性を視覚的に理解できたのがよかった。
- 自分の気づかなかった我が家のスタイルを発見することができて、改めて親に感謝しようと思った。
- 自分が家族をつくっていく立場になったときのことを考えたりと、未来を見る、考える良い機会になった。
- スタイルから色々な家族のあり方を取り入れられるだけでなく、それをコミュニケーションツールとしてワークグループメンバーの考えや家族のこともリアルに知れたことがよかった。
- たくさんの例を見て自分の家族のよさを再認識できた。家族の日常は当たり前で意識することが無かったが、これがきっかけで思い出し、自分が家族を作る際に実行したいと思った。

このように、「自分が家族をつくっていく立場になったときのことを考えたりと、未来を見る、考える良い機会になった。」や、「自分が家族を作る際に実行したいと思った。」「改めて親に感謝しようと思った。」などの感想から、「家族を育むスタイル・ランゲージ」は、今の家族を見つめ直すきっかけになったり、未来の家族について考える機会を与えたりすることができるのではないかと考えられる。



図7：「ワークショップ・デザイン」授業内で開催したワークショップの様子

5.3 考察

おしゃべりワークショップより、「家族を育むスタイル・ランゲージ」は、家族のあり方や暮らし方について対話するきっかけとなり、より良い家族の暮らし方をつくる発想のヒントになりうることが示唆された。しかし、実際に、実生活の中で家族の暮らし方をつくる手助けとなるのかについては、ワークショップでは検証することができなかった。今後は、この「家族を育むスタイル・ランゲージ」が、実生活においてより良い家族の暮らしをつくることを支援できるのか、検証をしていきたい。また、ワークショップでの支援は一度きりのものであったが、「家族を育むスタイル・ランゲージ」を複数回使用し、家族の暮らしを振り返りながら今後の取り組みについて考えるプロセスを繰り返すことで、家族の抱える課題に寄り添って、解決まで導くような長期的な支援も可能なのではないかな。

6. おわりに

本研究において、私たちは、「家族を育むスタイル・ランゲージ」を通して多様な家族のあり方や暮らし方などに触れ、より良い家族をつくる支援を目指した。私たちの実施したワークショップでは、390個の様々な家族のスタイルに触れることで、家族の暮らし方が人によってそれぞれであることを認識し、家族のことについて改めて考えるきっかけとなることができた。そして、より良い家族をつくろうとする際の、発想のヒントとなることが示唆された。

私たちと家族は、分かちがたい存在だ。そんな家族の暮らしを、より良いものへとつくっていくこともまた、私たちにとっては非常に大切なことである。今後は、「家族を育むスタイル・ランゲージ」を用いて、実生活の中で具体的、長期的に支援する方法について、研究を続けていきたい。

謝辞

本研究で取り上げた「家族を育むスタイル・ランゲージ」は、慶應義塾大学井庭研究室と、花王株式会社生活者研究センター（現・花王株式会社生活者研究部）の共同研究の成果として作成されたものである。井庭研究室のプロジェクトメンバーである安藤嵩一郎さん、宗像このみさん、野崎琴末さん、鳥羽和輝さん、下田裕介さん、また、生活者研究部の秋田千恵さん、伊藤公江さん、多邊田美香さん、山廣清美さんに、この場を借りて感謝申し上げたい。また、

「家族を育むスタイル・ランゲージ」を作成するにあたってインタビューに協力いただいた方々、ワークショップにて感想を提供して頂いた方々、そして本論文のシェパードを勤めていただいた伊作太一さんにも、感謝申し上げます。

参考文献

Alexander, C. (1979), *The Timeless Way of Building*, Oxford University Press, New York. (クリストファー・アレグザンダー, 『時を超えた建設の道』, 鹿島出版会, 1993)

Alexander, C. (1977), *A Pattern Language*, Oxford University Press, New York. (クリストファー・アレグザンダー, 『パターン・ランゲージ:環境設計の手引』, 鹿島出版界, 1984)

Iba, T., and Isaku, T. (2016) "Creating a Pattern Language for Creating Pattern Languages: 364 Patterns for Pattern Mining, Writing, and Symbolizing," *23rd Conference on Pattern Languages of Programs (PLoP2016)*.

Ogo, I., Iba, T., Ito, K., Miyakawa, S. (2017) *Ways of Everyday World-Making: Living well with Working and Parenting. Pursuit of Pattern Languages for Social Change.*

Sasabe, A., Kaneko, T., Takahashi, K. and Iba, T. (2016) *Pattern Mining Patterns: A Search for the Seeds of Patterns*. HILLSIDE Proc. of Conf. on Pattern Lang. of Prog. 23 (October 2016), 16 pages.

Shiori, S., Sakurako, K., Hitomi, S. and Takashi, I. (2016) .Pattern Naming Patterns; Symbolizing the content and value by expressions to facilitate intuitive comprehension. HILLSIDE Proc. of Conf. on Pattern Lang. of Prog. 23 (October 2016), 14 pages.

井庭崇・梶原文生, (2016). 『プロジェクト・デザイン・パターン: 企画・プロデュース・新規事業に携わる人のための企画のコツ 32』, 翔泳社.

川喜田二郎, (1967). 『発想法: 創造性開発のために』, 中公新書.

慶應義塾大学井庭研究室, 花王株式会社生活者研究センター (2016) 『日々の世界のつくりかた: 自分らしく子育てしながら働くためのヒント』, セッション「子育てをしながら心豊かに働く“ためのヒント:パターン・ランゲージによる対話と発想」, SFC Open Research Forum 2016. 慶應義塾大学井庭研究室・花王株式会社生活者研究センター (2017) 『家族を育むスタイル・ランゲージ』, セッション「家族を育むスタイル・ランゲージ-日々の世界のつくりかた」, SFC Open Research Forum 2017.

※本稿は、AsianPLoP2018 Writers' Workshop にかけるバージョンであり、最終稿ではありません。

付録

「家族を育むスタイル・ランゲージ」のスタイル・ワード一覧を、以下に示す。

家族の世界

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42

新年のけじめ
ママ友マッチ
潔いじゃんけん
寝坊防止作戦
朝のめぐみ
大人へのステップ
我が家のあたりまえ
気遣いスケジュール
兄妹マネジメント
マネーの体得
家事の助け合い
愛情のハグくみ
イライラの消火
家族の一枚
親子のモデル
ブレないキャラ弁
モゲモゲランゲージ
秘密のニックネーム
のんびりな休日
ニコニコ大作戦
休日のお姫さま
はずかしソング
おちびの特権
寝る前の手つなぎ
オリジナルのハイタッチ
いただきますの係
好き嫌いのない手本
身なり調整
へんてこネーム
団結ゲン担ぎ
世界へのジャンプ
愛情のボタン
敬語の日常づかい
お叱り当番
モノへのいたわり
教える分業
未っ子基準
「ちゃん」呼び
自然のおもちゃ
ボチボチランゲージ
火打ち石のおまじない
二人だけの時間

12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51

気持ちの包み込み
好きへの投資
勇気づけの山登り
的外れサポーター
好きの突き詰め
毎日の優しい見送り
熱中へのサポート
好奇心フォローアップ
悩みへの寄り添い
親せき応援団
お守りにぎり
一日一問
笑顔の対抗
想いのぬいぐるみ
お留守番マジック
パパコーチ
遠くからの寄り添い
愛言葉
探検隊の見守り
自由の線引き
「やりたい」の後押し
さりげない見守り
好き嫌いの気遣い
なりたいたの後押し
無償の手助け
探求心の見守り
始める自由
愛情弁当
全力ブッシュ
ほどよい関わり
陰ながらのフォローアップ
3000円ルール
好きの追求
決断力の自立
はじめての冒険
遊びの重要性
選択肢のプレゼント
自由の受けとめ
挑戦の後押し
無言の見守り

家族時間

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

家族の帰り道
オフィス自習室
朝の団らん
夫婦の休日
男の集い
3世代の恋バナ
それぞれのプラン
帰省前のフライング
20時の顔合わせ
同性会
夫婦の時間
仲良し三兄弟
安らぎアプローチ

13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55

安らぎアプローチ
のんびり時間
パパとの時間
つながるNゲージ
あたりまえの感謝
わんぱくプラン
晩酌ごっこ
かざらない集い
それぞれのつながり
無理にないつながり
あえてのバラバラ
ママはお友達
あったかごはん
まったりリビング
家族の集う場所
ディナーのお誘い
趣味をひらく
感謝を感じる母の味
ゲームで団らん
毎朝のひととき
お祝い券
秘密の交換ノート
趣味の埋め合わせ
別々のお買い物
早起きスタディ
家族の揃う時間
食後のゲームタイム
リビング教室
旅のフリータイム
四季を味わう日
それぞれとの時間
おとうさん塾
それぞれの楽しみ方
夕食のおはよう
夕食前のミニ講座
同性の日朝の振り返り
朝の振り返り
志の説得
あれこれ報告会
参拝スタート
いつもの朝ごはん
趣味のつまみぐい
リクエスト・ランチ

らしさの尊重

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

口出しのない信頼
おなじ目線
責任感への刺激
大学への入学
大切なことの天秤
自由な選択肢
フェアな呼び名
大人扱いの宣言
可能性を育む
勇気の仕掛け

感謝のきっかけ

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

おてつだい当番さん
一年の振り返り会
だんまり時間
等身大のパパ
「おいしい!」の発言
遠距離家族愛
ばあちゃんち留学
ママ感謝デー
我が家大賞
ママの日
日常の家事体験
部活動バックアップ

一緒に考える

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

隣のママコーチ
机上のパートナー
本気のフィードバック
叱るより諭す
敬語のスイッチ
決意の場
ひらかれたお財布事情
いのちの会議
決断の見守り
夢の深堀り
お願いプレゼント

エールのかたち

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

兄妹の輪
寄り添いレター
家族応援団
離ればなれ日記
華金デート
好奇心のおとも
暮らしの秘書
無言の安心感
笑顔の後押し
やんわりなお咎め
夢の種まき

12
13

夢の種まき

素直に話す

- 1 オープンな隠し事
- 2 車内の相談室
- 3 あたかなな抛り所
- 4 家族こそ本音
- 5 伝言メッセージ
- 6 おばあちゃんの助言
- 7 家事お休み宣言
- 8 仲直りごはん
- 9 年上の自覚
- 10 気持ちの大掃除
- 11 仲直りレター
- 12 小さな郵便屋さん
- 13 不安の共有
- 14 こっそり褒め
- 15 格好悪さの打ち明け
- 16 家系の打ち明け話
- 17 見えない気遣い

あたかなつながり

- 1 大好きなふるさと
- 2 おばあちゃんの知恵袋
- 3 ご近所さんの助け合い
- 4 地域にとけ込む
- 5 おばあちゃん学童
- 6 ご近所さん家族
- 7 田舎ネットワーク
- 8 親戚パーティー
- 9 やる気のひと押し
- 10 おとなコレクション
- 11 たくさんの居場所
- 12 放課後のぬくもり
- 13 ご飯は二人から
- 14 おばあちゃん家カフェ
- 15 祖父は遊ぶ博士
- 16 団地旅行
- 17 家族ぐるみ合宿

会話の種まき

- 1 会話マッサージ
- 2 あささんぽ
- 3 ママと服シェア
- 4 上達の仲間
- 5 三世代の女の子
- 6 節約トーク
- 7 きっかけテレビ
- 8 つながるドア
- 9 仲直りのサッカー観戦
- 10 テレビ前集合
- 11 お出かけ帰りのプチ議論
- 12 我が家の中心地
- 13 我が家のおひめさま
- 14 肩もみテレパシー
- 15 フィルター越しの本音
- 16 料理の見せ合いっこ
- 17 そろってセッション

- 18 父子だけの空間
- 19 みんなの本棚
- 20 お弁当の先約
- 21 仲直りのカステラ
- 22 おかずの取り分け
- 23 季節の学び
- 24 同士の時間
- 25 想い出インテリア
- 26 きっかけ弁当
- 27 それぞれのペース
- 28 父のお土産話
- 29 ただいまトーク
- 30 我が家の話の種

外の世界にふれる

- 1 身近な職場見学
- 2 しごとと観光
- 3 おしごと体感
- 4 固有名詞の会話
- 5 おしごと報告会
- 6 仕事プチ自慢
- 7 仕事人の背中
- 8 フォトトーク
- 9 トイレの目標ポスター
- 10 仕事の伝聞
- 11 職場留学
- 12 外の世界をのぞき見
- 13 パパママ参観
- 14 やる気のエナジー
- 15 働く世界のわくわく
- 16 親子ぐるみの交流
- 17 ママのたまり場
- 18 ママ座談会
- 19 「楽しい」の共有

家族プロジェクト

- 1 家族分担プロジェクト
- 2 本気でつくる
- 3 親せき交流会
- 4 家族でマラソン
- 5 習慣付けの習慣
- 6 親子サイクリング
- 7 家族内スキー部
- 8 親子で異文化体験
- 9 にわ活
- 10 みんながデザイナー
- 11 かぞくバーベキュー
- 12 わくわくクッキング
- 13 夢貯金
- 14 得意の持ち寄り
- 15 全力サブライズ
- 16 世界制覇マップ
- 17 子どもミッション
- 18 団結マラソン
- 19 旅リーダー

- 20 みんなでテスト
- 21 おもてなしの団結
- 22 お祝いのチームワーク
- 23 お庭ダイニング
- 24 みんながツアープランナー
- 25 こだわりの場所
- 26 オリジナル旅行

好きの拡散

- 1 ブックコンシェルジュ
- 2 家族ではまる
- 3 家事をみせる
- 4 アウトドアの教室
- 5 城巡り講座
- 6 家族の「アウトドア」
- 7 「好き」で遊ぶ
- 8 家給家足
- 9 コンサートのいざない
- 10 楽しさを魅せる
- 11 学びの共有会
- 12 寝る前の読み聞かせ
- 13 アートに触れる
- 14 本好きの原点
- 15 週末の趣味体験
- 16 好きの披露
- 17 本に触れる
- 18 緑とふれあう
- 19 コックの仲間入り
- 20 祖父に弟子入り
- 21 アウトドアパパ
- 22 趣味かじり

思い出の残し方

- 1 日々のアルバム
- 2 誕生日の真珠
- 3 成長の比べ撮り
- 4 思い出巡礼
- 5 季節ごとの思い出づくり
- 6 お揃いのグッズ
- 7 誕生日のお出掛け
- 8 元旦のお約束
- 9 足跡アルバム
- 10 お守りギフト

小さな楽しみ

- 1 残り物アレンジ
- 2 1番のご馳走
- 3 しりとりボード
- 4 ボーナスちゃれんじ
- 5 BBQの日
- 6 お決まりの映画
- 7 土曜のレイトショー
- 8 ノープランキャンピング
- 9 ご当地の食卓
- 10 くるま旅行

- 11 週締めリフレッシュ
- 12 おうちバースデー
- 13 祝日の過ごし方
- 14 ひよっこパパ
- 15 パパキッチン
- 16 3匹の大切な家族
- 17 私だけのワッペン
- 18 おそうじレース
- 19 おもてなし一家
- 20 お手伝い大使
- 21 記念日ファースト
- 22 ふとした繋がり
- 23 話題のアレンジ
- 24 ドレスアップディナー
- 25 家族の音楽会
- 26 家事レクリエーション
- 27 足音の当てっこ
- 28 金曜の特別
- 29 おやすみ合唱団
- 30 チャレンジクッキング
- 31 かくれうさぎ
- 32 おうちで旅行気分
- 33 席替えスパイス
- 34 我が家の看板犬
- 35 夫婦の一品
- 36 ごちそうさまトーク
- 37 世界に1つだけのギフト
- 38 てづくりアプリケ
- 39 見送りメッセージ
- 40 父の一言メッセージ
- 41 憩いのゲーム会
- 42 家族でネタ作り
- 43 休日だからできること
- 44 ゲームのつながり
- 45 ペランダディナー
- 46 日曜のひととき
- 47 毎晩の運だめし
- 48 パパ劇場
- 49 パパ・パンケーキ
- 50 ホタルのシグナル
- 51 できることづくり
- 52 子どもからの贈り物
- 53 親子の合奏
- 54 おやすみガム
- 55 多世帯パーティ
- 56 旅のルーティン